

第3期奈良県がん対策推進計画 施策体系（案）

資料8

分野別施策	施策の方向性	個別施策	中間目標	最終目標	全体目標
がん予防・がんの早期発見					
(1) がん予防	1. たばこ対策の充実	①市町村が主体となった普及啓発の推進 ②禁煙支援体制の整備・充実 ③禁煙支援の推進 ④未成年者の喫煙防止対策の強化 ⑤受動喫煙防止対策にかかる現状の把握と県民へのわかりやすい表示の推進	最終目標を達成するため、県民にがんのリスクを情報提供し、がんの有効な予防法について実践できる支援体制および環境整備ができています。	県民が、がん予防に関する正しい知識にもとづいたがん予防に取り組み、がんの罹患が減少している。	基本理念 がんにならない、がんになっても安心できる奈良県
	2. 健康的な生活習慣の普及	①減塩対策の充実 ②適正飲酒に関する普及啓発の推進 ③身体活動を増加させるための普及啓発の推進 ④適正体重についての正しい理解の推進			
	3. 感染症予防の充実	①肝炎対策の強化 ②HTLV-Ⅰ母子感染予防体制の整備 ③HPVの予防に関する国の施策の情報収集・提供 ④ヘリコバクター・ピロリの感染についての周知・啓発			
(2) がんの早期発見	1. がん検診の受診促進	①「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の開催 ②企業と連携した（奈良県がん検診応援団）がん検診受診啓発 ③がん検診受診勧奨を推進するための人材育成 ④市町村の受診率向上に向けた取組支援 ⑤協会けんぽと連携したがん検診の推進 ⑥県民だより、健康だより、インターネット（県ホームページ・SNS等）を活用した情報発信	最終目標を達成するため、県民にがんの早期発見やがん検診について周知がなされ、質の高いがん検診が受診しやすい体制整備ができています。	県民が、がんの早期発見やがん検診の必要性を認識し、質の高いがん検診を受診できている。	
	2. がん検診制度管理の充実	①がん検診従事者の資質向上のための研修会の継続 ②がん検診制度管理調査の実施・公表・指導			
	3. 石綿の健康影響に対する対策の推進	①石綿ばく露者の健康管理の充実			
がん医療					
(1) がん医療の充実	1. がん医療提供体制の充実	①拠点病院等の体制整備の充実 ②手術療法、放射線療法、薬物療法等の提供体制の充実 ③チーム医療提供体制の充実 ④がん患者の口腔ケアの医科歯科連携の充実 ⑤小児がん・AYA世代のがん医療の連携促進 ⑥新たながん医療の実施に向けた検討	最終目標を達成するため、がん診療連携拠点病院等において、安全かつ安心な質の高い医療提供体制及び情報提供体制の充実が図られている。	がん患者が、安全かつ安心な質の高いがん医療を受けることができています。	全体目標 がんにならない、がんで若い人が亡くならない（がん予防・早期発見、早世防止）
	2. がん医療の質の向上	①拠点病院・支援病院のがん医療の評価・分析 ②医療の質の評価方法の検討 ③医療関係者へのがん診療情報の提供			
	3. 患者目線でのがん診療情報の提供	①患者目線でのがん診療情報の見える化 ②診療情報の提供内容及び周知の充実			
(2) がんと診断された時からの緩和ケア	1. 緩和ケア提供体制の充実	①拠点病院等の緩和ケア提供体制の質の向上 ②医療従事者への緩和ケア研修会の充実	最終目標を達成するため、がん患者やその家族ががんと診断された時からの緩和ケアを受けることができる体制整備が進んでいる。	がん患者やその家族が、痛みやつらさが軽減され、療養生活に満足している。	
	2. 緩和ケアの理解促進と情報提供の充実	①緩和ケアに関する情報の充実、普及啓発			
(3) 地域連携	1. 拠点病院等の地域連携体制の充実	①地域連携クリティカルパスの活用促進 ②拠点病院等と地域の診療所等との連携促進	最終目標を達成するため、診断、治療、在宅、看取りまで、切れ目のない医療提供体制の整備が進んでいる。	がん患者が、自分の望む場所で納得のいく療養生活を送ることができる。	
	2. 在宅緩和ケア体制の整備及び充実	①在宅医療機能の把握・公表 ②在宅緩和ケアに携わる人材育成			
	3. がん患者や県民への情報提供と普及啓発	①在宅療養生活に役立つ情報内容の充実			
がん患者等への支援					
(1) 相談支援及び情報提供	1. 相談支援機能の強化	①がん相談支援センターの利用促進と相談支援の質向上 ②ライフステージ等に応じた相談支援体制の整備 ③ピア・サポートの活性化	最終目標を達成するため、がん患者やその家族に必要な情報が届き、質の高い相談支援が受けられる体制が進んでいる。	すべてのがん患者やその家族が、不安、悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している。	全体目標 すべての県民ががんを知り、がんに向き合い、希望を持って暮らせる地域共生社会をつくる。
	2. 患者目線での情報提供の充実	①患者に必要ながんに関する情報の見える化 ②がんに関する情報の周知強化			
(2) がん患者の就労を含めた社会的な問題	1. がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実	①拠点病院での就労相談の充実 ②県内の治療と仕事の両立支援相談窓口の連携・周知	最終目標を達成するため、県民や事業者のがんやがん患者に対する理解や支援が進んでいる。	がん患者やその家族が抱える仕事と両立の不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。	
	2. がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備	①事業所の両立支援の体制整備の推進 ②両立支援の連携体制の整備			
	3. 就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実	①両立支援の事例を活用した情報発信 ②社会的な問題等の情報提供			
がん登録					
がん登録	1. がん登録の精度向上	①全国がん登録のスムーズな運営 ②がん登録の精度向上	最終目標を達成するため、医療従事者等が精度が向上したがん登録データを有効活用できる体制整備が進んでいる。	がん患者ががん登録データを活用した質の高いがん医療を受けることができています。	
	2. がん登録データ等を活用したがん対策の検討・実施	①がん登録データの分析 ②データを活用したがん対策の検討・実施			
	3. データを活用した情報提供等	①患者目線でのがん診療情報の見える化（再掲） ②医療関係者へのがん診療情報の提供（再掲） ③全国がん登録の普及啓発の推進			
がんの教育・普及啓発					
がんの教育・普及啓発	1. 中学校・高等学校におけるがん教育の充実、推進	①がん教育用教材等の内容更新 ②外部講師を活用したがん教育の推進	最終目標を達成するため、発達段階に応じた系統立てたがん教育に取り組んでいる。	児童・生徒が、子どもの頃からがんに関する正しい知識を持ち、がんの予防や早期発見に注意を払っている。また、自分や身近な人ががんになっても、それを正しく理解し、向き合っている。	
	2. 小学校（高学年）におけるがん教育の普及啓発	①イベントを活用した小学生へのがん教育の普及啓発			
	3. がん教育の普及啓発の推進	①教員への研修事業の充実 ②がん教育の普及啓発			
	4. がん対策全般に関する普及啓発の推進	①がん対策にかかる普及啓発			